

注3

大学番号：013

[平成29年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

事前伺い

山形大学 工学部

高分子・有機材料工学科、化学・バイオ工学科、
情報・エレクトロニクス学科及び建築・デザイン学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山形大学
平成29年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	企画部企画課		
職名・氏名	カチョウ 課長・	キク 菊	チ 地 アキラ 朗
電話番号	023-628-4190		
（夜間）	023-628-4190		
F A X	023-628-4849		
e-mail	kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	11
高分子・有機材料工学科	11
化学・バイオ工学科	15
情報・エレクトロニクス学科	20
建築・デザイン学科	25
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	30
5. 教員組織の状況	34
6. 留意事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 大学の位置

〒992-8510
山形県米沢市城南四丁目3番16号

(〒990-8560
山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 ※該当なし

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部		年	人	年次人	人	
高分子・有機材料工学科 学士(工学)	工学関係	4	140	—	560	
化学・バイオ工学科 学士(工学)	工学関係	4	140	—	560	
情報・エレクトロニクス学科 学士(工学)	工学関係	4	150	—	600	
建築・デザイン学科 学士(工学)	工学関係	4	30	—	120	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<高分子・有機材料工学科>

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 140 (-) [若干人]	人 —	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	1.05 倍	
志願者数	254 (-) [2]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	247 (-) [2]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	159 (-) [1]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	148 (-) [1]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05											

<化学・バイオ工学科>

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	140 (-) [若干人]		() []		() []		() []		1.00 倍	
志願者数	257 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	246 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	168 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	140 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00											

<情報・エレクトロニクス学科>

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	150 (-) [若干人]		() []		() []		() []		1.05 倍	
志願者数	385 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	364 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	177 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	158 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05											

<建築・デザイン学科>

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	30 (-) [若干人]		() []		() []		() []		1.06 倍	
志願者数	174 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	170 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	37 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	32 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.06											

(注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して

ください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

<高分子・有機材料工学科>

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	148 [1] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	148 [1] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

<化学・バイオ工学科>

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [1] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	140 [1] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

<情報・エレクトロニクス学科>

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	159 [2] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	在学者には政府派遣留学生を含む。
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
4年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
計			159 [2] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		

<建築・デザイン学科>

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	32 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
4年次			[] ()	[] ()	[] ()				
計			32 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<高分子・有機材料工学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	148 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	該当なし	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	148 人	0 人					0.00 %

<化学・バイオ工学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	140 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	該当なし	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	140 人	0 人					0.00 %

<情報・エレクトロニクス学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	159 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	該当なし	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	159 人	0 人					0.00 %

<建築・デザイン学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	32 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	該当なし	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	32 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 高分子・有機材料工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	微積分解法	1前		2			1					兼1
	化学C	1前		2								兼1
	物理化学基礎	1前		2		1						
	数学C	1後		2								兼1
	物理学基礎	1後		2		1						兼1
	有機化学基礎	1後		2		1						
	高分子工学	1後		2			1					
	スキルアップセミナー	2前	1			1						
	基礎専門英語	2前		1			1					
	キャリア形成論	2前		2			1					
	数学I	2前		2			1					
	数学II	2前		2				1				
	物理学I	2前		2				1				
	物理学実験	2前	2			2	2			2		
	有機化学I	2前		2			1					
	有機化学演習I	2前	2				1			2		
	物理化学I	2前		2			1					
	物理化学演習I	2前	2				1			2		
	化学・バイオ工学概論	2前		2				1				
	情報エレクトロニクス概論	2前		2			1					
	機械システム概論	2前		2			1					
	科学英語	2後		2			1					
	キャリアプランニング	2後		2			1					
	数学IV	2後		2				1				
	物理学II	2後		2			1					
	有機化学II	2後		2			1					
	有機化学演習II	2後	2				1			2		
	物理化学II	2後		2			1					
	物理化学演習II	2後	2				1			2		
	合成化学概論	2後		2				1				
	光・電子材料概論	2後		2			1					
	物性工学概論	2後		2			1					
	構造解析・分析法I	2後		2			1					
	構造解析・分析法II	2後		2				1				
	高分子・有機材料工学実験	2後	2					2		6		
	ベンチャービジネス論	2後		2								兼1
	学外実習(インターンシップ)I	3前・後		1			1	2		1		
	学外実習(インターンシップ)II	3前・後		1			2	1		1		
	高分子熱・統計力学	3前		2				1				
	無機化学	3前		2			1					
	知的財産権概論	4前		2								兼1
	先端高分子工学	3後		1			1					
環境高分子科学	3後		1			1						
ソフトマテリアル工学	3後		2			1						
研究開発プロポーザル	3後	6				12	13		8			
高分子経済学	4前		1			14	14		9		担当教員の変更のため(29)	
卒業研究	4前・後	10				12	13		8			
特別講義	3・4前・後		2			14	14		9		担当教員の変更のため(29)	
産業理解特別講義	2前		2								兼1	
キャリア形成特別講義	2前		2								兼1	
工業技術概論	3前		2				1				兼3	
職業指導I	3前		2								兼1	
職業指導II	3前		2								兼1	
合成化学演習	3前		2				1					
高分子合成化学I	3前		2			1						
高分子合成化学II	3前		2				1					
有機量子化学	3前		2				1					

合成化学コース	光・電子材料合成化学	3前		2		1							
	合成化学論講Ⅰ	3前	2			2	1						
	合成化学実験Ⅰ	3前	2			1	3			3			
	合成化学実験Ⅱ	3前	2			1	3			3			
	有機合成化学	3後		2			1						
	分子集合体化学	3後		2			1						
	無機材料化学	3後		2		1							
	合成化学論講Ⅱ	3後	2			4	3			3			
	合成化学論講Ⅲ	4前	2			4	3			3			
	合成化学論講Ⅳ	4後	2			4	3			3			
	光・電子材料コース	光・電子材料演習	3前		2		1						
		有機量子化学	3前		2			1					
		光・電子材料合成化学	3前		2		1						
有機光・電子物性学		3前		2			1						
高分子表面科学		3前		2		1							
光・電子材料論講Ⅰ		3前	2			1	2						
光・電子材料実験Ⅰ		3前	2			1	2			2			
光・電子材料実験Ⅱ		3前	2			1	2			2			
分子集合体化学		3後		2			1						
無機材料化学		3後		2		1							
高分子計算科学		3後		2			1						
光・電子材料論講Ⅱ		3後	2			3	2			2			
光・電子材料論講Ⅲ	4前	2			3	2			2				
光・電子材料論講Ⅳ	4後	2			3	2			2				
物性工学コース	物性工学演習	3前		2		1							
	有機光・電子物性学	3前		2			1						
	高分子表面科学	3前		2		1							
	レオロジー	3前		2		1							
	高分子固体力学	3前		2		1							
	物性工学論講Ⅰ	3前	2			2	2						
	物性工学実験Ⅰ	3前	2			1	3						
	物性工学実験Ⅱ	3前	2			1	3						
	高分子計算科学	3後		2			1						
	高分子成形加工学	3後		2		1							
	高分子材料学	3後		2			1						
	物性工学論講Ⅱ	3後	2			4	3			4			
	物性工学論講Ⅲ	4前	2			4	3			4			
物性工学論講Ⅳ	4後	2			4	3			4				
基礎共通教育	スタートアップセミナー	1前		2									
	人間を考える	1前・後		2									
	共生を考える	1前・後		2									
	山形から考える 山形を考える	1前・後	2									授業科目名の変更のため(29)	
	哲学	1前・後		2									
	心理学	1前・後		2									
	歴史学	1前・後		2									
	文学	1前・後		2									
	芸術	1前・後		2									
	言語学	1前・後		2									
	文化論	1前・後		2									
	法学	1前・後		2									
	経済学	1前・後		2									
	社会学	1前・後		2									
	政治学	1前・後		2									
	地理学	1前・後		2									
	社会と倫理 技術者倫理	1前・後		2								授業科目名の変更のため(29)	
	知的財産 知財教育	1前・後		2								授業科目名の変更のため(29)	
	日本国憲法	1前・後		2									
	教養セミナー	1前・後		2									
	数理学	1前・後		2									
	物理学	1前・後		2									
	化学	1前・後		2									
生物科学 生物学	1前・後		2								授業科目名の変更のため(29)		
地球科学	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										
応用	1前・後		2										
学際	1前・後		2										
教養セミナー	1前・後		2										

科 目	地域学	1前・後	2						
	教養セミナー	1前・後	2						
	英語 1	1前・後	1						
	英語 2	2前・後	2						
	英語 3	3前・後	2						
	ドイツ語	1前・後	2						
	フランス語	1前・後	2						
	ロシア語	1前・後	2						
	中国語	1前・後	2						
	韓国語	1前・後	2						
	日本語	1前・後	2						
	情報処理	1前・後	2						
	健康・スポーツ科学	1前・後	2						
	スポーツ実技	1前・後	1						
	スポーツセミナー	1前・後	2						
	数理科学	1前・後	2						
	物理学	1前・後	2						
	化学	1前・後	2						
	生物科学	1前・後	2						
	地球科学	1前・後	2						
	医学	1前・後	2						
	工学	1前・後	2						
	農学	1前・後	2						
	キャリア・デザイン	1前・後	2						
	キャリア教育	2前・後	2						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
30	119	0	149	30	119	0	149	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 化学・バイオ工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
各 コ ー ス 共 通	情報エレクトロニクス概論	3後		2								兼1	どちらか一方 選択必修
	機械システム概論	3後		2								兼1	
	高分子科学	2前		2								兼1	
	キャリアプランニング	2後		2								兼1	
	キャリア形成論	2前		2								兼1	
	微積分法	1前		2								兼1	
	数学C	1後		2								兼1	
	物理学基礎	1後		2								兼1	
	数学I	2前		2								兼1	
	物理学I	2前		2								兼1	
	物理学実験	2前		2								兼1	
	化学数学	2前		2						2			
	数学II	2前		2								兼1	
	数学III	2後		2								兼1	
	数学IV	2後		2								兼1	
	物理学II	2後		2								兼1	
	知的財産権概論	2前		2								兼1	
	ベンチャービジネス論	2後		2								兼1	
	科学と技術	3前		2								兼1	
	特別講義	3・4前後		2								兼1	
	産業理解特別講義	2前		2								兼1	
	キャリア形成特別講義	2前		2								兼1	
	工業技術概論	2後		2				1				兼3	
	職業指導I	3前		2								兼1	
	職業指導II	3前		2								兼1	
	学外実習(インターンシップ)I	3前・後		1								兼1	
	学外実習(インターンシップ)II	3前・後		1								兼1	
	化学・バイオ工学基礎III	1後		2				3					
	化学工学量論	2前		2				1					
	移動現象I	2後		2				1					
	反応工学	3前		2			1						
	化学・バイオ工学基礎I	1前		2			1	2				昇任による職位の変更(29)	
	物理化学I	2前		2				1					
	物理化学II	2前		2				1					
	物理化学III	2後		2			1			1			
	無機化学I	2前		2			1						
無機化学II	2後		2				1						
分析化学	2前		2				1						
化学・バイオ工学基礎II	1前		2			1							
有機化学I	2前		2				2						
有機化学II	2後		2				1						
有機化学III	3前		2			1							
化学・バイオ工学基礎IV	1後		2			1	1						
細胞生物学I	2前		2			1							
細胞生物学II	2後		2				1						
生化学I	2前		2				1						
生化学II	2後		2				1				兼1		
安全工学	2前		2				1						
品質管理	3前		2			1							
情報処理概論	2前		2						1				

専 門 教 育 科 目	環境化学	2後		2			1				兼1 昇任による職位の変更(29) 昇任による職位の変更(29)	
	エネルギー化学	3前		2		1	1					
	マテリアル化学	3後		2			2					
	移動現象Ⅱ	2後		2			1					
	移動現象Ⅲ	3前		2			1					
	分離プロセス工学	3後		2			1			1		
	粉粒体工学	3前		2								
	機器分析学	3後		2		1				1		
	無機工業化学	3前		2			1					
	有機工業化学	2後		2			1					
	食品工学	3後		2		1	4			1		
	医薬品化学	3後		2			1					
	化粧品学	3前		2		1	4					
	医用細胞工学	3前		2		1						
	遺伝子工学	3前		2			1					
	微生物工学	2後		2						2		
	生理学	2後		2		1				1		
	再生医工学	3後		2		1						
	感覚細胞工学	3後		2			1					
	化学工学演習	3後		2						2		
	物理化学演習	3後		2		1	2			1		
	無機化学演習	3後		2			3					
有機化学演習	3後		2		2	2						
バイオ演習	3後		2			2			2			
化学実験Ⅱ	3前	2			9	16			7			
バ イ オ 化 学 工 学 コ ー ス	環境化学	2後		2			1				兼1	
	エネルギー化学	3前		2		1	1					
	マテリアル化学	3後		2			2					
	移動現象Ⅱ	2後		2			1					
	移動現象Ⅲ	3前		2			1					
	分離プロセス工学	3後		2			1					
	粉粒体工学	3前		2					1			
	機器分析学	3後		2		1				1		
	無機工業化学	3前		2			1					
	有機工業化学	2後		2			1					
	食品工学	3後		2			1			1		
	医薬品化学	3後		2			1					
	化粧品学	3前		2			1					
	医用細胞工学	3前		2		1						
	遺伝子工学	3前		2			1					
	微生物工学	2後		2						2		
	生理学	2後		2		1				1		
	再生医工学	3後		2		1						
	感覚細胞工学	3後		2			1					
	化学工学演習	3後		2						2		
	物理化学演習	3後		2		1	2			1		
	無機化学演習	3後		2			3					
有機化学演習	3後		2		2	2						
バイオ演習	3後		2			2			2			
バイオ実験	3前	2			2	4			3			
必 修 科 目	化学・バイオ工学実験	3後	4			11	16		10		兼2 担当教員の変更のため(29)	
	化学基礎実験	2後	2			9	16		7		兼1	
	化学実験Ⅰ	3前	2			9	16		7		兼1	
	化学・バイオ工学基礎演習	2前	2			11	16		10		兼2 担当教員の変更のため(29)	
	化学・バイオ工学英語	3後	2			11	16		10		兼2 担当教員の変更のため(29)	
	輪講Ⅰ	4前	2			11	16		10		兼2 担当教員の変更のため(29)	
	輪講Ⅱ	4後	2			11	16		10		兼2 担当教員の変更のため(29)	

		卒業研究	4通	10		11 10	16 18	10	兼2	担当教員の変更のため(29)	
基 盤 共 通 教 育 科 目	スタートアップセミナー	1前	2								
	人間を考える	1前・後	2								
	共生を考える	1前・後	2								
	山形から考える 山形を考える	1前・後	2							授業科目名の変更のため(29)	
	哲学	1前・後	2								
	心理学	1前・後	2								
	歴史学	1前・後	2								
	文学	1前・後	2								
	芸術	1前・後	2								
	言語学	1前・後	2								
	文化論	1前・後	2								
	法学	1前・後	2								
	経済学	1前・後	2								
	社会学	1前・後	2								
	政治学	1前・後	2								
	地理学	1前・後	2								
	社会と倫理 技術者倫理	1前・後	2								授業科目名の変更のため(29)
	知的財産 知財教育	1前・後	2								授業科目名の変更のため(29)
	日本国憲法	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	数理科学	1前・後	2								
	物理学	1前・後	2								
	化学	1前・後	2								
	生物科学 生物学	1前・後	2								授業科目名の変更のため(29)
	地球科学	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	応用	1前・後	2								
	学際	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	地域学	1前・後	2								
	教養セミナー	1前・後	2								
	英語 1	1前・後	1								
	英語 2	2前・後	2								
	英語 3	3前・後	2								
	ドイツ語	1前・後	2								
	フランス語	1前・後	2								
	ロシア語	1前・後	2								
	中国語	1前・後	2								
	韓国語	1前・後	2								
	日本語	1前・後	2								
	情報処理	1前・後	2								
	健康・スポーツ科学	1前・後	2								
	スポーツ実技	1前・後	1								
	スポーツセミナー	1前・後	2								
	数理科学	1前・後	2								
	物理学	1前・後	2								
	化学	1前・後	2								
生物科学	1前・後	2									
地球科学	1前・後	2									
医学	1前・後	2									
工学	1前・後	2									
農学	1前・後	2									
キャリア・デザイン	1前・後	2									
キャリア教育	2前・後	2									

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
13	149	0	162	13	149	0	162	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{162} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	微積分解法	1前		2		1						兼1	
	化学C	1前		2								兼1	
	情報エレクトロニクス入門	1前	2				3			1			
	数学C	1後		2								兼1	
	物理学基礎	1後		2		1						兼1	
	専門数学II	1後		2		1	1						
	数学I	2前		2								兼1	
	数学II	2前		2								兼1	
	確率統計学	2前		2			1						
	物理学I	2前		2		1						兼1	
	物理学実験	2前	2				2						
	電磁気学I	2前		2		1	1						注1
	電気回路I	2前		2		1	1						注1
	キャリア形成論	2前		2		1							
	計算機基礎	2前		2						1			注1
	数学III	2後		2		1							
	数学IV	2後		2			1						
	物理学II	2後		2			1					兼1	
	キャリアプランニング	2後		2		1							
	ソフトウェア工学	2後		2			1						
	線形システム基礎	2後		2			1						注1
	化学・バイオ工学概論	3前		2								兼1	
	機械システム概論	3前		2								兼2	
	高分子科学	3前		2								兼3	
	電子回路I	3前		2		1	1			1			注1
	計算機アーキテクチャ	3前		2						1			
	計算機ハードウェア	3前		2		1							
	信号処理	3前		2			1						
	データ通信	3前		2			1						
	デジタル回路	3前		2		1							
	センシング工学	3前		2		1							
	ベンチャービジネス論	2後		2								兼1	
	情報化社会と職業	3前		2		1	1						
	情報システム設計とOS	3後		2		1							
	マイクロプロセッサとインタフェース	3後		2		1							
	デジタル画像処理	3後		2			1						
	制御システム工学	3後		2		2							
	PBL演習II	3後	2				14	18			7		
	科学と技術	3前		2			15	17			9		担当教員の変更のため(29)
	工業技術概論	3前		2		1	2					兼1	
	職業指導I	2前		2									注2
	職業指導II	2前		2								兼1	どちらか一方
	知的財産権概論	3前		2								兼1	選択必修
	情報ネットワーク工学	4前		2		1							
	パターン認識と機械学習	4前		2		1							
	暗号と情報セキュリティ	4前		2			1						
	通信システム	4前		2		1							
	卒業研究	4前・後	10				14	18			7		
	特別講義	3・4前後		2			15	17			9		担当教員の変更のため(29)
	産業理解特別講義	2前		2								兼1	

専 門 教 育 科 目	キャリア形成特別講義	2前		2						兼1		
	学外実習（インターンシップ）Ⅰ	3前・後		1						兼1		
	学外実習（インターンシップ）Ⅱ	3前・後		1						兼1		
	専門数学Ⅰ（情報・知能）	1後		2			1					
	情報数学Ⅰ	2前	2			1						
	マルチメディア入門	2前		2		1						
	情報科学演習	2前	2			8	8		5			
	プログラミング演習Ⅰ（情報・知能）	2前	4			1						
	PBL演習Ⅰ（情報・知能）	2前	2			1	1					
	データ構造とアルゴリズム	2後	2			1						
	情報理論	2後	2				1					
	論理回路	2後		2			1					
	情報数学Ⅱ	2後		2			1					
	応用確率論	2後		2		1						
	オートマトンと言語理論	2後		2			1					
	プログラミング演習Ⅱ（情報・知能）	2後	4			1						
	知 能 コ ー ス	情報科学実習Ⅰ	3前	2						2		
		プログラミング演習Ⅲ	3前	4			1			3		
		プログラミング言語	3前	2			1			4		
		数値解析	3前		2		1					
		計算理論	3前		2			1				
		認知科学入門	3前		2		1					
		テキストマイニング	3前		2					1		
		英語セミナーⅠ（情報・知能）	3前		2		1					
		情報科学実習Ⅱ	3後	2						2		
		英語セミナーⅡ（情報・知能）	3後		2					1		
		情報計画工学	3後		2			1				
		知識情報処理	3後		2		1					
		データベース論	3後		2						1	
		情報科学特別講義	4前		2						2	
		輪講（情報・知能）	4前	2			8	8		5		
		兼6										
		電 気 ・ 電 子 通 信 コ ー ス	専門数学Ⅰ（電気・電子通信）	1後		2		1	1			
			電磁気学Ⅰ演習	2前	2			1				
			電気回路Ⅰ演習	2前	2			1				
			電子物性Ⅰ	2前	2			1	2			
	電子物性演習		2前		2			1				
	プログラミング演習Ⅰ（電気・電子通信）		2前	4			1					
	PBL演習Ⅰ（電気・電子通信）		2前	2				1		1		
	プログラミング演習Ⅱ（電気・電子通信）		2後	4				1				
電磁気学Ⅱ	2後			2		1						
電磁気学Ⅱ演習	2後			2		1						
電気回路Ⅱ	2後			2			1					
電気回路Ⅱ演習	2後			2			1					
電子物性Ⅱ	2後			2			1					
電子工学実験Ⅰ	2後		2			7	7		3			
英語セミナーⅠ（電気・電子通信）	3前			2		1			1			
半導体工学	3前			2			1					
電子工学特別講義	3前			1								
兼7												
電子工学実験Ⅱ	3前		2			7	7		3			
英語セミナーⅡ（電気・電子通信）	3後			2			1		1			
電気電子材料	3後			2		1						
電磁波工学	3後			2			1					
電子回路Ⅱ	3後			2		1			1			
電気機器学	3後			2			1					
パワーエレクトロニクス	3後			2			1					
電子工学実験Ⅲ	3後	2			7	7		3				
集積回路	4前		2		1							
電力工学	4前		2			1						
電力伝送工学	4前		2			1						
基礎製図	4前		2			1						

	電気法規及び施設管理 論講(電気・電子通信)	4前 4前	2	1		7	7	3	兼1
基 盤 共 通 教 育 科 目	スタートアップセミナー	1前	2						
	人間を考える	1前・後		2					
	共生を考える	1前・後		2					
	山形から考える 山形を考える	1前・後	2						授業科目名の変更のため(29)
	哲学	1前・後		2					
	心理学	1前・後		2					
	歴史学	1前・後		2					
	文学	1前・後		2					
	芸術	1前・後		2					
	言語学	1前・後		2					
	文化論	1前・後		2					
	法学	1前・後		2					
	経済学	1前・後		2					
	社会学	1前・後		2					
	政治学	1前・後		2					
	地理学	1前・後		2					
	社会と倫理 技術者倫理	1前・後		2					授業科目名の変更のため(29)
	知的財産 知財教育	1前・後		2					授業科目名の変更のため(29)
	日本国憲法	1前・後		2					
	教養セミナー	1前・後		2					
	数理科学	1前・後		2					
	物理学	1前・後		2					
	化学	1前・後		2					
	生物科学 生物学	1前・後		2					授業科目名の変更のため(29)
	地球科学	1前・後		2					
	教養セミナー	1前・後		2					
	応用	1前・後		2					
	学際	1前・後		2					
	教養セミナー	1前・後		2					
	地域学	1前・後		2					
	教養セミナー	1前・後		2					
	英語 1	1前・後	1						
	英語 2	2前・後		2					
	英語 3	3前・後		2					
	ドイツ語	1前・後		2					
	フランス語	1前・後		2					
ロシア語	1前・後		2						
中国語	1前・後		2						
韓国語	1前・後		2						
日本語	1前・後		2						
情報処理	1前・後		2						
健康・スポーツ科学	1前・後		2						
スポーツ実技	1前・後		1						
スポーツセミナー	1前・後		2						
数理科学	1前・後		2						
物理学	1前・後		2						
化学	1前・後		2						
生物科学	1前・後		2						
地球科学	1前・後		2						
医学	1前・後		2						
工学	1前・後		2						
農学	1前・後		2						
キャリア・デザイン	1前・後		2						
キャリア教育	2前・後		2						

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	137	0	166	29	137	0	166	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 建築・デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	微積分解法	2前		2								兼1	
	機械工学基礎Ⅰ	2前		2								兼1	
	機械工学基礎Ⅱ	2後		2								兼1	
	数学C	2後		2								兼1	
	建築学概論	1前	2			1							
	デザイン概論	1前	2			1	1		1				担当教員の変更のため(29)
	日本建築史	1後	2			1							
	木質構造概論	1後		2		2	1		1				担当教員の変更のため(29)
	図学	2前		2		1							
	基礎設計製図	2前	2			2	3		1				担当教員の変更のため(29)
	新材料加工学	2前		2		1							
	西洋建築史	2前		2		1							
	建築一般構造	2後		2		1							
	建築法規	2後		2								兼1	
	測量学	2後		2								兼1	
測量学実習	2後		2								兼1		
特別講義	2後		2		5								
専門教育科目	確率統計学	4前		2								兼1	
	安全工学	4前		2								兼1	
	数値解析	4前		2								兼1	
	知的財産権概論	4前		2								兼1	
	運動と力学及び演習	2後		2								兼1	
	環境工学	2前	2			1	1						担当教員の変更のため(29)
	住居計画学	2前	2			1							
	建築構造力学	2前	2			1							
	建築設計製図Ⅰ	2後	2			2	3		1				担当教員の変更のため(29)
	建築CAD演習	2後		2		1							
	建築設備	2後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)
	建築材料学	2後		2		1	1		1				担当教員の変更のため(29)
	インテリアデザイン論	2後		2								兼1	
	ユニバーサルデザイン論	2後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)
	建築設計製図Ⅱ	3前	2			3	3		1				担当教員の変更のため(29)
	住環境論	3前		2		1							
	施設計画	3前		2		1	1						担当教員の変更のため(29)
	耐震構造	3前		2		1							
	建築材料学実験	3前		2		1	1						担当教員の変更のため(29)
	木質構造デザイン	3前		2		2	1		1				担当教員の変更のため(29)
	建築環境エネルギーデザイン	3前		2		1							
	建築環境リサイクル	3前		2		1							
	建築史演習	3前		2		1	1		1				担当教員の変更のため(29)
	住まいと庭園	3後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)
	建築設計製図Ⅲ	3後		2		3	3		1				担当教員の変更のため(29)
	都市・地域計画	3後	2			1							
	地盤工学	3後		2		1							
建築施工	3後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)	
景観設計	3後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)	
木質構造デザイン演習	3後		2		2	1		1				担当教員の変更のため(29)	
建築構造デザイン	3後		2		1								
地震工学	3後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)	
建築環境エネルギーデザイン実験	3後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)	
建築環境実験	3後		2		1	1						担当教員の変更のため(29)	
建築設計製図Ⅳ	4前		2		3	3		1				担当教員の変更のため(29)	

	振動論	4前		2	1									
	建築職能論	4前		2								兼1		
	工業英語	4前		2	1									
	デザイン基礎	2前		2										
	地域デザイン論	2前		2						1			担当教員の変更のため(29)	
	地域デザイン演習	2後		2						1			担当教員の変更のため(29)	
	デザイン演習	3前		2									担当教員の変更のため(29)	
	インダストリアルデザイン	3後		2										
	オープンデスク	3前		2	5					2		兼1	担当教員の変更のため(29)	
	単位互換科目	3前・後		2	5								担当教員の変更のため(29)	
	ゼミナール	4前・後		2	5								担当教員の変更のため(29)	
	卒業研究	4通	10		5								担当教員の変更のため(29)	
	学外実習（インターンシップ）	3前・後		2	5								担当教員の変更のため(29)	
	建築・デザイン特別講義	4前・後		3	5								担当教員の変更のため(29)	
	職業指導Ⅰ	3前		2								兼1	どちらか一方	
	職業指導Ⅱ	3前		2								兼1	選択必修	
基 盤 共 通 教 育 科 目	スタートアップセミナー	1前		2										
	人間を考える	1前・後		2										
	共生を考える	1前・後		2										
	山形から考える 山形を考える	1前・後		2									授業科目名の変更のため(29)	
	哲学	1前・後		2										
	心理学	1前・後		2										
	歴史学	1前・後		2										
	文学	1前・後		2										
	芸術	1前・後		2										
	言語学	1前・後		2										
	文化論	1前・後		2										
	法学	1前・後		2										
	経済学	1前・後		2										
	社会学	1前・後		2										
	政治学	1前・後		2										
	地理学	1前・後		2										
	社会と倫理 技術者倫理	1前・後		2										授業科目名の変更のため(29)
	知的財産 知財教育	1前・後		2										授業科目名の変更のため(29)
	日本国憲法	1前・後		2										
	教養セミナー	1前・後		2										
	数理科学	1前・後		2										
	物理学	1前・後		2										
	化学	1前・後		2										
	生物科学 生物学	1前・後		2										授業科目名の変更のため(29)
	地球科学	1前・後		2										
	教養セミナー	1前・後		2										
	応用	1前・後		2										
	学際	1前・後		2										
	教養セミナー	1前・後		2										
	地域学	1前・後		2										
	教養セミナー	1前・後		2										
英語1	1前・後		1											
英語2	2前・後		2											
英語3	3前・後		2											
ドイツ語	1前・後		2											
フランス語	1前・後		2											
ロシア語	1前・後		2											
中国語	1前・後		2											
韓国語	1前・後		2											
日本語	1前・後		2											
情報処理	1前・後		2											
健康・スポーツ科学	1前・後		2											
スポーツ実技	1前・後		1											

スポーツセミナー	1前・後	2							
数理科学	1前・後	2							
物理学	1前・後	2							
化学	1前・後	2							
生物科学	1前・後	2							
地球科学	1前・後	2							
医学	1前・後	2							
工学	1前・後	2							
農学	1前・後	2							
キャリア・デザイン	1前・後	2							
キャリア教育	2前・後	2							

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
14	108	0	122	14	108	0	122	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 ※該当なし

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成29年4月 専任教授1名を新規採用のため(29)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況（学部）

大学の名称	山形大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部 人文社会科学科	4	290	3年次20	1200	学士（文学，学術，法学，政策科学，経済学）	1.05	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部 人間文化学科	4	—	—	—	学士（文学）	—	平成8年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年より学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士（法学，経済学，政策科学）	—	平成18年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育文化学部 地域教育文化学科	4	175	—	700	学士（教育学，学術）	1.04	平成24年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士（教育学）	1.04	平成24年度	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士（学術）	1.00	平成29年度	同上	
異文化交流コース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
造形芸術コース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
音楽芸術コース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
スポーツ文化コース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
食環境デザインコース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
生活環境科学コース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
システム情報学コース	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成24年度	同上	平成29年より学生募集停止
地域教育学科	4	—	—	—	学士（教育学）	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
生活総合学科	4	—	—	—	学士（学術）	—	平成17年度	同上	平成24年より学生募集停止
理学部 理学科	4	210	—	840	学士（理学）	1.04	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士（理学）	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士（理学）	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士（理学）	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士（理学）	—	昭和42年度	同上	平成29年より学生募集停止
地球環境学科	4	—	—	—	学士（理学）	—	平成7年度	同上	平成29年より学生募集停止
医学部 医学科	6	125	—	750	学士（医学）	1.00	昭和48年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
看護学科	4	60	3年次5	250	学士（看護学）	1.00	平成5年度	同上	
工学部 （昼間コース） 高分子・有機材料工学科	4	140	—	560	学士（工学）	1.05	平成29年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
化学・バイオ工学科	4	140	—	560	学士（工学）	1.00	平成29年度	同上	

情報・エレクトロニクス学科	4	150	—	600	学士 (工学)	1.05	平成29年度	同上	
機械システム工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.05	平成29年度	同上	
建築・デザイン学科	4	30	—	120	学士 (工学)	1.06	平成29年度	同上	
機能高分子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
バイオ化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成22年度	同上	平成29年より学生募集停止
応用生命システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
情報科学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
電気電子工学科 (フレックスコース)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
システム創成工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.03	平成22年度	同上	
農学部									
食料生命環境学科	4	165	—	660	学士 (農学)	1.01	平成22年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号	
生物生産学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成3年度	同上	平成22年より学生募集停止

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 既設大学等の状況（大学院）

大学の名称	山形大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収容 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会文化システム研究科 修士課程									
文化システム専攻	2	6	—	12	修士 (文学)	1.24	平成9年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
社会システム専攻	2	6	—	12	修士(政策科学)	0.91	平成9年度	同上	
地域教育文化研究科 修士課程									
臨床心理学専攻	2	6	—	12	修士(臨床心理学)	1.08	平成21年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
文化創造専攻	2	8	—	16	修士(学術)	1.06	平成21年度	同上	
医学系研究科 博士課程									
医学専攻	4	26	—	104	博士(医学)	0.74	昭和54年度	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
博士前期課程									
看護学専攻	2	16	—	32	修士(看護学)	0.93	平成9年度	同上	
先進的医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.46	平成29年度	同上	
生命環境医科学専攻	2	—	—	—	修士(医科学)	—	平成16年度	同上	平成29年より学生募集停止
博士後期課程									
看護学専攻	3	3	—	9	博士(看護学)	0.77	平成19年度	同上	
先進的医科学専攻	3	9	—	27	博士(医科学)	0.55	平成29年度	同上	
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士(医科学)	—	平成16年度	同上	平成29年より学生募集停止
理工学研究科 博士前期課程									
(理学系)									
理学専攻	2	53	—	106	修士(理学)	1.09	平成29年度	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理学専攻	2	—	—	—	修士(理学)	—	平成11年度	同上	平成29年より学生募集停止
物理学専攻	2	—	—	—	修士(理学)	—	平成11年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	—	—	—	修士(理学)	—	平成11年度	同上	平成29年より学生募集停止
生物学専攻	2	—	—	—	修士(理学)	—	平成11年度	同上	平成29年より学生募集停止
地球環境学専攻	2	—	—	—	修士(理学)	—	平成11年度	同上	平成29年より学生募集停止
(工学系)									
物質化学工学専攻	2	38	—	76	修士(工学)	1.04	平成16年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
バイオ化学工学専攻	2	28	—	56	修士(工学)	1.19	平成22年度	同上	
応用生命システム工学専攻	2	23	—	46	修士(工学)	1.06	平成16年度	同上	
情報科学専攻	2	28	—	56	修士(工学)	0.90	平成16年度	同上	
電気電子工学専攻	2	34	—	68	修士(工学)	1.01	平成16年度	同上	
機械システム工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.28	平成5年度	同上	

ものづくり技術経営学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.30	平成17年度	同上	
機能高分子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成16年度	同上	平成28年より学生募集停止
有機デバイス工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
博士後期課程									
(理学系)									
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士(理 学、工学、 学術)	0.66	平成11年度	山形県山形市小白川町一丁目4番 12号	
(工学系)									
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.50	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士(工 学、学術)	0.66	平成22年度	同上	
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士(工 学、学術)	0.08	平成22年度	同上	
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士(工 学、学術)	1.05	平成22年度	同上	
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士(工 学、学術)	0.00	平成19年度	同上	
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士(工 学、学術)	—	平成5年度	同上	平成22年より学生募集停止
システム情報工学専攻	3	—	—	—	博士(工 学、学術)	—	平成5年度	同上	平成22年より学生募集停止
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士(工 学、学術)	—	平成22年度	同上	平成28年より学生募集停止
有機材料システム研究科									
博士前期課程									
有機材料システム専攻	2	65	—	130	修士 (工学)	1.27	平成28年度	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
博士後期課程									
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	0.95	平成28年度	同上	
農学研究科									
修士課程									
生物生産学専攻	2	14	—	28	修士 (農学)	0.99	平成7年度	山形県鶴岡市若葉町1番23号	
生物資源学専攻	2	16	—	32	修士 (農学)	0.74	平成14年度	同上	
生物環境学専攻	2	12	—	24	修士 (農学)	0.75	平成7年度	同上	
教育実践研究科									
専門職学位課程									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.02	平成21年度	山形県山形市小白川町一丁目4番 12号	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部>

(1) 担当教員表 ※該当なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										平成27年3月 ○○○教授辞任のため 平成27年度より担当者の 変更(27) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
専	教授	○○○○ (○○)	平成26年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (○○)	平成27年4月	国際経済学	
					兼任	講師	◇◇◇ (○○)	平成27年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成27年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成27年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (27)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成29年10月	金 融 論			後任未定			平成28年10月 □□□□准教授就任辞退(29) 「後任未定」平成29年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成29年4月	○○○○論	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお, 設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は, 「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由, 変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

<工学部 高分子・有機材料工学科>

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

<工学部 化学・バイオ工学科>

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

<工学部 建築・デザイン学科>

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

<工学部 高分子・有機材料工学科>

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
13	13	0	7	33	12	13	0	8	33	13	13	0	7	33
(12)	(13)	(0)	(8)	(33)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

<工学部 化学・バイオ工学科>

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	16	0	10	36	11	16	0	10	37	10	16	0	10	36
(11)	(16)	(0)	(10)	(37)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	18	0	8	41	14	18	0	8	40	15	18	0	8	41
(14)	(18)	(0)	(8)	(40)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

<工学部 建築・デザイン学科>

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	1	0	2	8	5	0	0	2	7	5	1	0	2	8
(5)	(0)	(0)	(2)	(7)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

<工学部 高分子・有機材料工学科>

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

<工学部 化学・バイオ工学科>

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

<工学部 情報・エレクトロニクス学科>

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

<工学部 建築・デザイン学科>

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 ※該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	○○ ○○	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退（27）	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（29）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（A）					後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	助教	井上 雅史	必修	情報科学実習Ⅰ	①	他大学に転出のため辞任（29）	
			必修	プログラミング演習Ⅲ	①		
			選択	データベース論	①		
合計（C）					後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した教員が担当する科目は、当初より複数教員で担当する授業であるため、同人担当分は他教員が担当することになり支障はない。また、学生への周知は、オリエンテーション、学生便覧及びweb等で周知徹底を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

※該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(〇〇学科、●●学科)の～すること。	〇〇意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<工学部>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む) ※該当なし

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項 ※該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）
・平成29年5月1日 公表

b 公表方法

記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成29年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例）
・平成29年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年10月1日)